

# アスリートに対するキャリア形成支援の推進

令和4年度予算額  
(前年度予算額)

69,335千円  
69,298千円



アスリートが生涯にわたりその有する能力を幅広く社会に生かすことができるよう、社会の各分野で活躍できる知識及び技能の習得に対する支援並びに活躍できる環境整備の促進を行う。

## ○スポーツキャリアサポート支援事業

55,388千円（継続）

スポーツ振興の担い手であるアスリート、スポーツ人材（指導者、審判員等）の活躍を後押しするため、アスリートのキャリア形成を関係団体・企業等が連携してサポートする体制を構築するとともに、我が国のスポーツ人材の育成、確保等に係る課題の解決に向けた戦略を立案する。

### ■スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営

- スポーツ関係団体と民間企業等とが共に参画する、「スポーツキャリアサポートコンソーシアム」を運営。
- アスリートのデュアルキャリア形成を構成員の連携・協働を通じて効果的に支援するプロジェクトの実施や、現役アスリートが所属するクラブチーム・競技団体・学校等において、アスリートに対し、デュアルキャリア形成支援プログラムやキャリアに関する情報提供を行う「アスリートキャリアコーディネーター」を育成する。
- 所属アスリートのキャリア支援に取り組んだことのない団体において、アスリートキャリアコーディネーターを中心にキャリア支援を初めて実践する際のモデルを構築する。



アスリート

- ・アスリートが有する価値を社会に還元することによるスポーツの価値の向上
- ・アスリートが安心して競技に取り組める環境の整備による国際競技力の向上



指導者、審判員等

- スポーツ人材の計画的な育成、確保
- スポーツ活動の持続可能性の確保



### ■各統括団体・中央競技団体・海外事例を対象としたアスリートのキャリア形成に関する実態調査

- アスリートのキャリア形成の全体像や引退後のアスリートが抱えるセカンドキャリア形成上の課題を明らかにし、アスリートのキャリア形成および人材活用に資する実態調査研究を行う。

アスリートやスポーツ関係者が一層活躍する社会へ

## ○学校現場と外部人材をつなぐ在り方研究事業

13,947千円（継続）

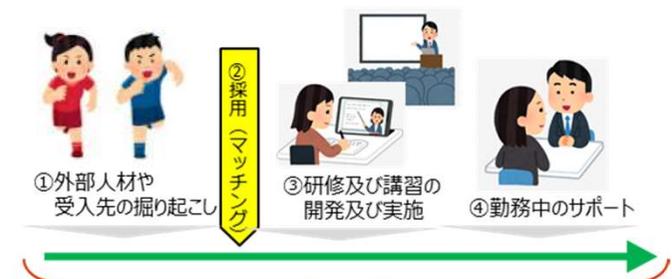
多様な経験を有するアスリート人材が学校現場に円滑に参画し、専門的な知識・経験を活かせる環境を整備するため、学校現場とアスリート人材をつなぐ仕組みづくりの検討を行う。

### ■学校現場と多様な経験や背景を持つアスリート人材をつなぐ在り方研究事業（分野に特化した全国的な仕組みの検討）

- オリンピック・パラリンピアン等のアスリートを活用し、ニーズの高い分野の人材に特化した全国的なマッチングの在り方について検討する。
- 具体的には、①受入先の学校や多様な経験や背景を持つ人材の掘り起こし、②採用（マッチング）、③学校現場へ参画する際に必要な研修・講習の開発及び実施、④採用後のサポート等を含め一体的に支援する事例を創出しつつ、全国的な仕組みの在り方の検討を行う。
- 件数・単価：1箇所×約1,400万円（予定）



政策的ニーズの高い分野に特化した全国的な人材マッチングの仕組みの構築



一体的な支援体制等の構築